



コミュニティ・スクール太宰府市立太宰府東中学校

東の風

令和7年5月7日（水）第2号 文責：校長 高良 悦子



体育会結団式から

本年度は、第39回体育会を5月17日（土）に開催する予定です。4月30日（水）には体育会の結団式とブロック発足会がありました。4月の中旬ごろから、放課後には体育会リーダーの勇ましいかけ声が響き渡り、朝の挨拶や授業開始と終わりの挨拶の音がだんだん大きくなってきているところです。

結団式で発表された体育会スローガンは「挑魂（とうこん）～一生懸命だから楽しい～」です。体育会実行委員長の高尾さんからは、その設定理由を次のように説明してくれました。



【スローガン発表の様子】

挑魂の「挑」は、生徒会スローガンとして掲げている「挑む」の漢字を当てはめています。太東全員が、日常から意識し目指している「挑む」気持ちを、この体育会でも心にとめて、一人一人が挑戦しようという意味です。また、「魂」は、太東全員がつながり、周りを巻き込んでいく熱い気持ちを表しています。一人一人が全力で体育会に向き合い、魂を燃やすという意味です。そしてこの「挑魂」は太東一人一人が、それぞれの全力を出すことで成り立つと考えています。

サブテーマの「一生懸命だから楽しい」の「楽しさ」とは、目の前のハードルを越える達成感や、辛さや苦勞を乗り越えた時の気持ちよさのことです。ワイワイニコニコただ楽しいというのを目指しているのではなく、挑むことの楽しさを感じる体育会にしたいです。「一生懸命になる」ことで得られる結果は人それぞれで違います。誰でも得意なことや苦手なことがあって、苦手なことに挑むときは辛い気持ちになることがあるかもしれません。しかし、周りの仲間と支えあったりつながり合ったりすれば、苦手なことでも前向きに「挑み」、一生懸命を引き出していくことができると思います。太東みんなが一生懸命になることで得られる達成感が、僕たちを「楽しい」という感情にさせてくれると考えています。太東全員が「挑魂」を持ち続けて自分の限界に挑む体育会を作り上げていきましょう。

ご家庭におかれましても、食事や睡眠などにご配慮いただき、全学年で動くこの行事を通して、子ども達の成長を見守っていただけたらと思います。

七転び八起き

体育会に向け各ブロックの「絵幕」のデザインイメージから、ふと「七転び八起き」という言葉を思い出しました。実は、私自身が小学6年生の時の学級のスローガンだったものです。七度転んで八度起き上がる意味から、多くの失敗にもめげず、そのたびに奮起して立ち直ることを表します。私はその時からこの言葉が大好きです。

さて、体育会には「勝敗」があるように、学校生活や部活動等においても「勝ち」や「負け」は必ずあり、いずれにも涙が伴う場面を見ることがあります。

その涙は、真剣に取り組んだ人にしか流せない涙だと思います。いい加減にやってきた「勝ち」はうれしくないし、適当に取り組んだ「負け」に悔しさは伴いません。

負ける（転ぶ）経験はとても大切だと思います。負けを受け入れ、その悔しさを次に生かす（起き上がる）ことで、人は成長していくものだと思います。子どものうちに負ける経験をせずに大人になってしまうと、何かの出来事で心が折れてしまうかもしれないからです。一方で、子どものうちに負けを乗り越える力がついたら、しなやかで、簡単にはくじけることのない心（「レジリエンス」）が育つと思います。

大人は、子どもが悔しい思いをしないように、失敗やトラブルを前もって取り除くことが優しさだと思いがちですが、悔しさを経験させることも大切です。子どもたちの将来を見据えたら、「転ばぬ先の杖」よりも「七転び八起き」、何度転んでも起き上がれる自信を与えたいものです。そんな子どもたちを育てていけたらと思っています。